

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 長田 昭夫

〒680 - 8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857)27 - 5566

平成十三年度決算を承認 日医連執行委員会

日本医師連盟は平成十五年一月二十一日に執行委員会を開催し、当面の医療制度構造改革が、患者負担増加等の新たな負担を強いるものであり、その凍結を求める行動を展開することを確認した。また、平成十三年度決算を審議し、賛成多数で承認するとともに、平成十五年負担基準を決定した。鳥取県医連からは大石副委員長、栗原議長が出席した。

参議院選で 活動費増加

金四億二二四九万余円、収入合計二億九八二万余円である。

平成十三年度日本医師連盟収支決算案は酒井会計責任者から提案された。参議院議員選挙が七月に挙行されたことから、比例区に武見候補を持つ日医連としては、支援活動に対する経費支出、特別会費の納入など収入、支出の動きが多く拡大した。
収入のうち会費にあたる負担金は一四億八四二二万円、特別会費（前年賦課）は二億四〇〇万余円、繰越

万円の増加である。この結果、収入、支出差額は一億七七五九万余円となった。

なお、過年度負担金未収額の解消の努力は続けられているが、年度末で三億八千万余円となっている。

この収支報告書は六月に総務省に提出し、承認されている。

十五年度負担金
二万円に決定加

議題として提案された十五年度の負担基準額は、これまでどおり二万円として賛成多数で承認された。負担基準に伴う納入については、都道府県医連の負担となる立替えを少なくし、十五年度の方針は寄付金を減らし、地方交付金を増やす。

活動活性化へ 推進委員会設置

日本医師連盟は、昨年九月に参議院選の反省も含めて各県アンケート、各ブロック代表による作業討議を経て新活動指針を決定して

支部を設置して活動する。若手医師会員の研修制度を充実させ、選挙区ごとに二名を推薦させる。

十月から推進している。この指針は前号に掲載したが具体的な方策として、各県一名を推薦する医政活動推進委員会を設置して坪井委員長の下に医政活動の活性化を推進する。

この指針について協力を求められた。これについて鳥取県医師連盟では、報告期限もあり、委員長と執行委員会議長、地区委員長との協議により次の各氏を委嘱した。

各都道府県医師連盟にも

- 活動委員 岡本公男
- 若手医師会員 宮崎博実 清水正人 神鳥高世 野坂美仁

三割自己負担凍結へ 県議会へ請願

日本医師会及び日医連は 提出した。

被用者保険三割自己負担の実施凍結と高齢者の自己負担軽減等の実現を目指して 歯科医師会、薬剤師会、看護協会との共同行動を展開しており、傘下の団体にも呼びかけている。

県内でも四師会としては初めての共同行動として新聞へ意見広告を行った。

引き続いて、一月三十日には四者会長の連名で、医療制度改革についての請願書を県議会自民党議員の紹介により石黒県議会議長へ

提出した。 要旨は、政府が聖域なき構造改革の名のもとに進めている医療制度改革は国民に新たな負担を強いるものであり、保険財政の展望は好転している。直ちに三割負担は必要ない。三割負担の実施凍結と高齢者の負担軽減について政府への意見書の提出を要請するもの。

なお、この請願書は二月十七日開会の県議会で討議され、三月上旬に取扱いが決定される。

執行委員会開催 予算、選挙対策

平成十五年は統一地方選挙の年であり、本件でも知事選挙、県議選、米子市長選等が相次いで挙行される。

こうした情勢に対する方針の決定、平成十五年度の活動方針及び予算案について協議する執行委員会を次の日程で開催する。

日時 3月6日15時15分
場所 鳥取県医師会館

平成13年度日本医師連盟収支決算書の内訳

(単位：円)

| 収 入 | | |
|----------|----------------|-----------------------------|
| 科 目 | 金 額 | 内 訳 |
| 1 負担金 | 1,484,220,000 | |
| 当年度分 | 1,476,750,000 | @ 20,000 |
| 過年度分 | 7,470,000 | |
| 2 特別会費 | 204,068,000 | 平成13年春に要請し、13年度中収入分 |
| 3 寄付金 | 0 | |
| 4 その他収入 | 47,367 | 利子収入 |
| 5 繰越金 | 421,492,168 | |
| 合 計 | 2,109,827,6535 | |
| 支 出 | | |
| 科 目 | 金 額 | 内 訳 |
| 1 経常経費 | 73,599,960 | |
| 人件費 | 38,294,798 | 職員給与及び臨時職員給与並びに共済費 |
| 高熱水費 | 756,000 | 事務所負担分 |
| 備品・消耗品 | 3,280,946 | 日医連ニュース1,920千円、消耗品等1,360千円 |
| 事務所費 | 31,268,216 | 新聞・資料印刷発送23,000千円 その他 |
| 2 政治活動費 | 1,858,629,375 | |
| 1) 組織活動費 | 216,793,781 | |
| 組織対策費 | 59,154,950 | 各地区会議出張42,000千円 会議費24,000千円 |
| 交際費 | 134,956,227 | 政党パーティ等 |
| 渉外費 | 13,372,045 | 21議員連盟及び各政策関係 |
| 行事費 | 9,301,559 | 決起集会等経費 |
| 2) 選挙関係費 | 2,012,820 | 陣中見舞等 |
| 3) 機関紙費等 | 14,825,407 | |
| 発行业業費 | 5,375,407 | 機関紙及びニュース7回 |
| 宣伝事業費 | 9,450,000 | 新聞広告等 |
| 4) 調査研究費 | 1,948,191 | 書籍及び資料購入 |
| 5) 寄付交付金 | 1,623,049,176 | |
| 寄付金 | 1,017,500,000 | 党及び議員 95%までは与党、個人への直接寄付 |
| 交付金 | 605,549,176 | 納入会費の10%及び政党支部負担金分を各県医連へ |
| 合 計 | 1,932,229,335 | |
| 収支差額 | | 177,598,200 円 |